

1. 学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」
この本学園の建学の精神のもと、「日本で、また母国で堂々と働くことのできる人材、社会にとって有用な人材を育成する」ことを教育目標として掲げ、その実現に努力している。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・就職実績・進学実績の向上及び進路先で活躍できる人材の育成
- ・専門資格の高い合格率の維持、さらなる向上（経営マネジメント科、情報ビジネス科）
- ・外部試験の成績向上、日本語での「発信力」（スピーチ力）の強化（日本語科）
- ・担任のみに頼る運営ではなく、チームで取り組める体制作り（日本語科）
- ・保育士・幼稚園教諭の両免取得が可能な教育（併修）の100%卒業（保育士養成科）
- ・ユニットベース（当学園学生管理システム）の運用による学生状況把握と指導への活用

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	委員の評価	B
評価項目		
・学校の理念・目的・育成人材像を定めているか		
・育成人材像に合わせ、学科ごとに特色ある教育活動に取り組んでいるか		
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		
・学校の理念・目的・育成人材像を学生・保護者に向けて発信しているか		
・各学科の教育目標、育成人材像は、関連する業界ニーズに適合しているか		

①課題

- ・社会・時代の変化のスピードが速い状況下で、そのニーズをしっかりと捉え、学校自身も変化していくことへの強い気持ちを持つこと
- ・保護者への発信
- ・受入れ学生の変化（在留資格の多様化）に合わせた体制作り

②今後の改善方策

- ・社会情勢などの外部情報にも目ざとくあり、しっかり情報収集を行う
- ・社会が常に変わることを意識しながら、求める人材像を育てる体制を整えていく
- ・HP含めた発信方法の見直し（発信形態、発信頻度含めた方針の策定）
- ・学校の目標、育てる人材像の適宜見直し

③特記事項

・毎年、教育システムの見直しをPDCAで回している。優先度の高いものから改善活動を継続している

(2) 学校運営	委員の評価	B
評価項目		
・理念（建学の精神）等に沿った運営方針を定めているか		

・理念（建学の精神）等に沿った事業計画を定めているか
・学生数（あるいは受け入れる学生の言語数）に応じた組織体制になっているか
・規程やマニュアルが整備され、組織運営が適切に行われているか
・人事、給与に関する規程等を整備しているか
・指示命令系統が明確であり、意思決定システムが機能しているか
・固定資産、備品等の購入、管理が制度に基づき適切に行われているか
・シラバス等、教育活動等に関する情報公開を適切に行っているか
・情報システム化等により業務の効率化を図っているか

①課題

・情報セキュリティが高いことも重要だが、効率向上への足枷になっている部分がある
・マニュアルを作成・更新するだけでなく、周知・共有し、マニュアルに基づいた動きを取る体制作り
・必要な教員確保のための採用活動の見直し

②今後の改善方策

・情報セキュリティの見直しの提案、クラウド活用の可能性の模索
・個の力に依存しない「仕組み」による運営の強化
・採用方法の多様化、外部エージェントなどの活用検討

③特記事項

・学校自己評価や科目シラバスをHPIにて公開している（情報公開）
・高等教育修学支援制度の認可を取得
・法人契約による教員採用など、新たなスキームによる教員確保に着手した

(3) 教育活動	委員の評価	B
評価項目		
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を定めているか		
・学科ごとに修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		
・教育目的・目標に沿ったカリキュラム編成になっており、目標達成に必要な学修時間を確保しているか		
・教育目標に合致した教材が選定されているか		
・キャリア教育を実施しているか		
・カリキュラムの作成・見直し等を行う際、外部有識者の意見を反映しているか		
・インターンシップ、実技実習等に関する定めがあり、体系的に実施しているか		
・授業アンケートを実施し、評価・フィードバックを行っているか		
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確であり、判定会議を設けているか		
・目標とする資格（免許）を、カリキュラムの中で明確に位置付けているか		
・資格（免許）取得の指導体制が整っているか		
・資格・要件を満たした教員を確保しているか		
・教員の能力開発、指導力育成、資質向上のための取組み（研修等）を行っているか		

①課題

・教員個々の能力開発、指導力の育成
・学科ごとの教育目標の明確化と共有
・個々の教員のスキルアップのための研修等の充実

②今後の改善方策

- ・学園研修の内容（メニュー）の充実化
- ・個々の教員が外部研修に参加しやすい風土、環境づくり
- ・学科ごとの研修の増設

③特記事項

- ・年に2回の授業アンケートを確実に実施し、フィードバックにより授業の質の担保・研鑽を図っている
- ・年度末に進級・卒業判定会議を開催し、基準を基に進級・卒業を判定している
- ・学園全体、また部門による全体研修を毎年、年に2回実施している

(4) 学修成果	委員の評価	A
評価項目		
・学生の自己評価（PA等）を実施しているか ※PA・・・パフォーマンスアセスメント		
・卒業後の進路を把握しているか		
・進路達成（就職率・進学率）の向上が図られているか		
・検定合格、資格取得、免許取得の状況を把握しているか		
・資格・免許取得率の向上が図られているか		
・（成果発表を含め）学習成果を学外に対して示しているか		
・卒業生のキャリア形成、社会的な活躍や評価を把握しているか		

①課題

- ・学修成果の外部への発信の強化
- ・卒業生の進路は把握しているが、その後の活躍状況の把握ができていない
- ・日本語科・進路指導の統一化、情報共有

②今後の改善方策

- ・HP、SNSの活用強化
- ・学生の校友会への理解の促進を図り、卒業後も学校と、また卒業生同士が繋がる体制を構築する
- ・学校行事への企業参画の強化

③特記事項

- ・パフォーマンスアセスメント（PA）表の活用により、学生たちが自身の成長を感じることができるようにしている
- ・校友会との連携により卒業後に学校とコンタクトを取りやすい状況へ変化しつつある
- ・外部企業参画の学校行事、外部のお客様をお迎えしての学校行事を実施することができた（専門課程、保育士養成科）

(5) 学生支援	委員の評価	A
評価項目		
・進路指導（就職・進学）に関する支援体制は整備されているか		
・学生定期面談を計画・実施しているか		
・学生が適宜相談に来られる体制を整えているか		
・欠席が多い、学習態度不良の学生に対し早期のフォローがなされているか、その仕組みがあるか		
・休日及び長期休暇中、災害など緊急時に学生と連絡を取る手段があり、対応が可能か		
・退学率の低減が図られているか		
・学生の生活状況を定期的に把握し、相談にのる等の支援をしているか		
・健康診断を定期的に実施しているか		
・避難訓練を定期的に実施しているか		

・防災用品が備蓄されているか
・学生寮の設置、不動産会社紹介などの生活環境支援体制を整備しているか
・保護者（留学生は送り出し機関や母校）と適切に連携しているか、その体制があるか
・卒業生への支援体制があるか
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

①課題

・災害時対応の見直し
・卒業生への支援体制の強化（卒業後の連絡手段の確立を含む）
・学生個別相談のための面談ルームの必要

②今後の改善方策

・災害時対応の見直しと共に、定期的に確認・周知をおこなう。避難訓練のバリエーションを増やす
・留学生にも分かりやすい防災の冊子などの作成と配布

③特記事項

・学生との定期面談を実施している
・出席不良学生の情報共有、チームとして対応する体制ができています
・就職実績は良好である

(6) 教育環境

委員の評価	A
-------	---

評価項目
・校地・校舎面積は、専修学校設置基準また日本語教育機関の告示基準に適合しているか
・教育上の必要に十分対応した施設・設備、教具、備品等を整備しているか
・教室内は十分な照度があり、換気がなされているか
・視聴覚教材を使用可能な設備があるか
・学外での実習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか
・防災に対する体制を整備し、組織として対応が可能な状態か
・校内施設・設備の点検を定期的に行い、安全の確保に努めているか

①課題

・空調設備の劣化への対応
・防災に対する体制の整備
・視聴覚機器備品の充実
・不要備品廃棄・保管書類の整理

②今後の改善方策

・空調設備の更新、サーキュレーター活用等による改善
・防災体制の強化
・視聴覚教材の整備・更新（ICT化対応への遅れ含む）
・規程に沿った備品管理の徹底。保管書類の年度更新の徹底

③特記事項

・3号館では、有線⇒無線LANへの改修工事を行った。
・1号館では2023年度から各教室へのPC配備を行った。
・4号館ではPCの改良（SSDへの換装、メモリ増設など）の他、インターネット環境を大幅に改善した。

(7) 学生の受け入れ募集

委員の評価

A

評価項目

- ・接続する教育機関（高等学校、日本語学校、送り出し機関等）に対し適切な情報提供をしているか
- ・入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っているか
- ・学校見学対応を適切に行っているか
- ・募集定員を定めているか
- ・教育内容、授業料等の正確な学校情報をインターネット上で開示しているか
- ・入学選考基準を明確に定め、適切に運用しているか
- ・入学選考結果を入学後の学生指導、授業改善等に活用しているか
- ・進路実現実績、学生満足度に対し、学納金は妥当なものとなっているか

①課題

- ・入学選考基準の明確化、国際課との連携（日本語科）
- ・広報チャンネルの幅を広げること
- ・学科により預り金の金額の増額が必要

②今後の改善方策

- ・入学時選考基準の情報共有、国際課との連携（日本語科）
- ・広報における新たなメディアの活用検討
- ・学科ごとに預り金の金額を設定する

③特記事項

- ・2023年度4月入学生から、入学者数を定員の範囲内で収めている（コロナ対応からの脱却）
- ・専門は、経営マネジメント科、情報ビジネス科、日本語研究科の3学科で高倍率の入学選考を行った
- ・保育士養成科は2023年度末をもって学科廃止
- ・日本語研究科において、テキスト充実のため、預り金の変更を検討

(8) 財務

委員の評価

A

評価項目

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・単年度予算、中期計画を策定しているか？
- ・予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか
- ・予算及び計画に基づき、適正に執行・管理しているか
- ・適正な会計監査が実施されているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

- ・少子化が進む中で、中長期的にも安定的に学生募集を継続する新たな方策
- ・予算管理の効率化

②今後の改善方策

- ・幅広い国や地域からの学生募集の強化（海外募集）
- ・学生から選ばれる学校として継続していけるよう、教育の質の維持また向上の検討
- ・DX化

③特記事項

- ・公認会計士事務所による監査を受けている
- ・財務情報の公開可能な体制を整えている
- ・予算計画に基づく、予算執行が適切に行われている

(9) 法令等の遵守	委員の評価	A
評価項目		
・法令、専修学校設置基準等の遵守し、適正な学校運営を行っているか		
・個人情報保護のための対策を実施しているか		
・出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅滞なく行っているか		
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		
・自己評価結果を公開しているか		
・学校関係者評価の委員会を組織し、評価を行っているか		
・学校関係者評価を公表しているか		
・学校ホームページに「情報公開」を適切に掲載しているか		
・入管法上の留意点について学生へ伝達、指導等を定期的に行っているか		
・在留に関する学生の最新情報を把握しているか		
・在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか		

①課題

- ・家族滞在や定住者などの在留資格の多様化への対応の強化
- ・学生の意識を向上させるための取組み
- ・法令に関する最新情報への教員の意識の向上

②今後の改善方策

- ・部内研修等による在留資格や関連法令への理解の充実
- ・法令に関する情報の定期的な発信・共有、最新情報の発信・共有（学生・教職員共に）

③特記事項

- ・当学園の全体研修において個人情報や肖像権に関する研修を実施している
- ・各科HPの「情報公開」リンクから、シラバス、自己評価、学校関係者評価等の情報の閲覧が可能
- ・高等教育修学支援新制度の対象校に認定されている

(10) 社会貢献・地域貢献	委員の評価	C
評価項目		
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		
・学生のボランティア活動を奨励し、活動への参加を支援しているか		
・地域交流や地域活動を実施しているか		
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		

①課題

- ・コロナで途絶えた地域交流の再活発化
- ・学生がボランティア活動に参加できる仕組み作り
- ・教員が休日のボランティアに参加する場合の勤怠管理

②今後の改善方策

- ・過去の活動実績の掘り起こし及び取り組み可能な活動を洗い出し
- ・「手軽にできる」ボランティア活動から、まずは始めてみる
- ・公共職業訓練の受託を行ってきた保育士養成科の活動に代わる地域貢献の模索

③特記事項

- ・日本語科では、県内高校との交流事業を行った。
- ・保育士養成科では、公共職業訓練の受託を行った（2023年度末をもって終了）
- ・専門課程では、2024年度から県内高校（6校）との協定に基づく、教育連携事業を開始予定

(11) 国際交流	委員の評価	A
評価項目		
・留学生の受入れを戦略的、組織的に行っているか		
・留学生の受入れ、在籍管理を適正に行っているか		
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		
・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか		
・留学生在籍部門に関し、出入国在留管理局から「適正校」の認定を受けているか		

①課題

- ・学修成果の外部への発信
- ・日本人との交流の場の提供

②今後の改善方策

- ・外部企業の参画、オンライン配信等による外部発信の模索
- ・学園祭での日本人との交流の場の提供の検討。学校行事（スピーチコンテスト等）の一般公開
- ・地域のお祭りへの参加

③特記事項

- ・「適正校」認定を継続できている（留学生部門）

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）
その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0 ~ 3.5
B	3.5未満 ~ 3.0
C	3.0未満 ~ 2.5
D	2.5未満

評価者：岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校教職員

（評価期間：2023年4月1日～2024年3月31日）